

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	ご入居者の重度化、高齢化の進行に伴って、食事の準備、洗濯、掃除など職員がフォローしながらできることが少なくなっている。 また、できるご利用者も限定されてきている。	ご利用者一人一人の潜在能力と意欲を引き出し、「できること」「やりたいこと」を見つけて支援していく。	ご利用者一人一人について、再度、アセスメントを行い、共同生活の中で出来るだけ役割を發揮できるようにケアプランを見直す。役割を従来の枠組みだけで考えず、視野を広げて検討する。	12ヶ月
2	19	ご入居者の支援が中心となっている。ご家族には、ご入居者の状態の報告をし、ケアに対する希望や意は伺っているが、共に支えあうという共同関係にまでは至っていない。	ご家族との連携を深め、施設とご家族とでご利用者を支えていく関係を構築する。	面会時、運営推進会議時や電話、手紙などでするだけご家族とコミュニケーションを図り、ご家族を精神的に支えていく。	12ヶ月
3	21	ご利用者同士の関係が固定化してきている。認知症軽度のご利用者が重度の方に、厳しい視線や言葉を投げかけることがある。	ご利用者同士がお互いを尊重し、認め合っていけるような関係を築く。	職員がまず、ご利用者一人一人の優れた点を見出し、他のご利用者に理解していただくよう支援する。	12ヶ月
4	35	昨年まで、火災に対する防災訓練は定期的に実施してきたが、地震に対する防災訓練や設備に改善の余地がある。	火災、地震に対する避難誘導が迅速にできる。 長期的な避難生活に備えた備品の整備。	火災、地震に対する避難訓練の強化。防災用品の点検、補充。救急救命についての研修の実施。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。